

## 一喜一憂

23日の夜、多くの人たちがTVにくぎづけになったかと思ひます。サッカーワールドカップにおいて、日本がドイツに逆転勝ち、大金星を上げました。私はその日、22時に中継を見始めたのですが、前半、劣勢だったので、「やっぱり無理かな??」と思いつつ、途中で床につきました。翌朝、妻がさりげなく、「日本、勝ったよ」と言ったのを聞き、さっそくTVをつけました。予想通り、どの局もその話題でもちきり、2つのゴールシーンやサポーターの興奮の様子などが伝えられていました。そこで目をひいたのが、森保監督のコメント、「……まだ1試合終わっただけ、一喜一憂しすぎず、しっかり次の試合に向けて勝利を目指したい。」これだけ大きな成果をあげた直後に、「一喜一憂しすぎず」という言葉が出たことに驚きと、既に次を見据えていることに監督の重責を感じました。



私達は、日々「目標を立て、達成する」ことで成長しています。もちろん、そこに苦しさや楽しさがありますし、悔しさや喜びもあります。まさしく“一喜一憂”です。ここで大きく成長できるかどうかは、その最終目標の高さと日々の努力のあり方が大きなポイントとなります。森保監督の一言は、「ドイツに勝つことは目標の一つだが、それは通過点であり、さらに上の目標がある。一つ一つをクリアすることで、大きな目標を達成したい。」という意であったと思います。生徒は、特に3年生は、志望校合格という目標に向かって、今、懸命に学習に励んでいると思います。先週は期末テストでした。その結果が今週中にはでると思います。その結果に“一喜一憂”せず、まずは成績向上や志望校合格に向け、しっかり頑張りたいと思います。しかし、志望校合格は最終目標ではありません。さらに先を見据え、最終目標(夢)を実現するために、自分の甘さに負けることなく、今、頑張らなくてはなりません。浅野選手のように、「負けてたまるか!」の精神を持ち、大きな目標(夢)達成のために、日々、頑張りたいと思います。……と書いたものの、コスタリカ戦でまさかの敗戦。しかも本当のワンチャンスを生かされての失点。新聞にも「金星かすむ……」の文字が。やっぱり一喜一憂してしまいますよね。

## どうでもいい話

本当にどうでもいい話です。先週、妻の一言「急にオープンレンジの温め機能がきかなくなった。どうしよう」「そうだ、保証書を見よう」「残念、11月2日で5年保障が切れている」「壊れるのがあと3週間早かったら……」このレンジ機能が無いと確かに不便。そこで、急遽、土曜日に電子レンジを買い求めたのですが、翌日、娘からの電話。「母さん、聞いて聞いて、何と歳末のガラガラ籤でオープンレンジが当たったよ。私、アパートにあるから、家に送るね……」妻:「あと1日早かったら……」何というタイミング。こういうのを“すれちがい”というのですかね??ということで、今、私の家には3台のレンジが……無くては困るけど、ありすぎて困るという話でした。

